

## 高松学習館運営協議会（令和3年7月）会議録概要

開催日時 令和3年7月28日（水曜日）午前9時30分～午前11時15分

開催場所 高松学習館 第2教室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学常勤教授）

小林理哉（立川市社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

関口真一（高松児童館）

橋本登（立川市市民交流大学推進委員会）

小倉亮一（立川市市民交流大学推進委員会）

難波敦子（学習館利用団体）

栗原政子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

欠席 2名

[事務局] 石井孝（高松学習館係長）、富田瑞代（高松学習館市民囑託）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

### 議事

#### 1. 会長あいさつ

緊急事態宣言はまだまだ続くような状況。昨年度はコロナウイルスの実態がわからず、イベントが全て中止だった。今回は感染症対策をしながらの実施やオンラインでの実施をするなど形を変えての取り組みとなっており、そういう経験を通していろいろなアイデアを出していただきたい。

#### 2. 報告事項

- ・事務局より下記について報告があった。
  - ・緊急事態宣言下で学習館は午後10時までの開館で午後8時までの利用自粛の協力をお願いをしている。学習スペースは午後8時までの利用。ひき続き、感染症予防対策に徹底して取り組んでいく。
  - ・代表者連絡会の開催について：10月22日（金）午後6時30分～市役所生涯学習に関わる組織（各地運協、市民リーダー会、市民推進委員会）の代表者が初めて一堂に会して生涯学習について意見交換を行う。
  - ・社会福祉協議会よりNHK主催のオンラインフォーラム案内ちらし配布と紹介があった。

#### 3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) 文化祭について

- ・6月公開教室のみ実施した。事務局より公開教室実施サークルと参加者のアンケートについて報告があった。
- ・「高松学習館ミニ展示会」案内ちらし(案)：9/16～12/1の期間に週替わりで学習館利用サークルの作品を展示する。多くのサークルより参加申込があった。演奏会参加サークル紹介DVDは梅田会長が作成中。次回会議で視聴予定。

- (3) 地域学校コーディネーター資料：配布資料に基づき、事務局より説明があった。次回9月会議に意見交換会を実施するにあたり、委員より質問や意見があった。
- ・立川市生涯学習審議会答申「学社一体へ向けた取り組みにおける地域学習館のあり方について（答申）」抜粋をダイジェストでまとめてありわかりやすい。学習館としてできることはもっとあるのではないかと思う。前回の会議で学習館展示会で学校の児童や生徒の成果物を展示することや西砂学習館で実施している夏休み期間中の学習館イベント体験を通して世代間交流の場づくりなどが考えられる。場づくりとしてハード面での学習館の活用方法がある。
  - ・学校に出向くのは簡単ではないが、学習館に来てもらうアイデアを出し合っていくのがいいのではないか。地域学校コーディネーターさんに地運協のことを知ってもらうことが大事だと思う。
  - ・天体観測などのイベント実施を学校を会場に提案できたらと考えている。PTAの方々にも協力していただいたり、学校側にも喜んでいただけるのではないかと思う。
  - ・幸学習館と高松学習館が分担して該当の学校区の地域学校コーディネーターさんとのようにつながりを持っていくことになるのか。地域学校コーディネーターさんと学習館のつながりはこれから始まるのでまだイメージは掴めない。
  - ・地域学校コーディネーターさんのお仕事について話をお聴きしたり、地運協のメンバー構成について知っていただくことをきっかけとして今後つながりを深めていきたい。担当している生涯学習系の職員も9月会議に出席する予定。
  - ・文科省から地域学校協働本部事業のあり方についてイメージは下りてきていて、地域により形はさまざま。青梅市でもいろいろと形づくりをしている。いわき市では学校、公民館、地域住民が一体となってコラボでコミュニティスクールとして実施している。どのように機能するかは地域による。教育委員会のバックアップと地域をよく知っている人達が必要となる。立川市は都市部としてどうしていくか、学社連携・融合から一体へということで、すみ分けとコラボの部分で、まずはきちんと情報交換をしてからアイデアを出し合って積み上げていくことが大事だと思う。時間をかけてやっていくことになるだろう。
  - ・公民館が学校と一緒に協働している例はあまり知らない。地域の特性に応じて行っていくのだと思う。
  - ・地域の特性や学校と地域学校コーディネーターさんの関係により調整していくことになると思われる。
  - ・事務局では第二中学校区で「誰でもコンサート」実施を提案していくことを検討している。PTAにも協力していただいて楽しく参加しながら障害者について理解してもらうことにつながると思う。天体観測も学校側のニーズに応じて実施する内容を提案していきたい。
  - ・西砂地域では麦の栽培が盛んで青少健で麦を育ててうどんづくりをした。地域にあるものを学校とつないでいくといいのではないか。高松学習館は子ども科学あそび隊講座で学芸大学との連携、クッキングで立川女子高校とのつながりも活かせると思う。
  - ・地域の歴史について学ぶことはいいと思う。学習館で地域の人から戦争の話等を聞くことは勉強になる。地元のことをあまりよく知らない子どもも多い。

- ・第五小学校の2年生の生活科で南部公園について話をさせてもらった。地元にあるものの歴史的背景を学べるようにしていくといいと思う。
- ・学習館文化祭で以前実施したシネマ通りの昔の展示も好評だった。

#### (4) その他

- ・R3年度実施予定の事業について事務局より説明があった。調整中の事業もある。子ども科学あそび隊がコロナ禍で中止となったため、子ども向け地域活性化講座を工夫して市民リーダーさんに講師を依頼していくつか調整中。
- ・学習館にも二酸化炭素計測計などもあるといいかもしれないという意見があった。

#### 4. その他

- ・次回会議日程について確認した。  
令和3年9月22日(水)午前9時30分～11時30分 高松学習館

#### 5. 地域課題共有(地運協運営状況)

- ・各委員より
  - ・健康フェアについて中止の地域が多いが、栄町支部は従来の形を変えて実施検討中(接触系を避ける)
  - ・コロナ禍で講座が中止になった。オリンピックのボランティアに参加した。
  - ・市民企画講座も大半が中止。
  - ・市民リーダー会の幹事会中止、総会は署名方式。
  - ・カラオケは活動がまだ厳しい中、各自が練習に取り組んでいる。立老連でレクダンスが南北に分かれて実施された。令和踊りや東京五輪音頭の練習もしたが、イベント中止で発表の場がなくなっている。
  - ・緊急事態宣言中は児童館の行事は中止。来館する子どもの人数は増加。
  - ・コロナ禍で運動不足、毎日の散歩、筋トレなど行っている。

以上